



Sport in Life Award

第2回

Sport in Life (生活の中にスポーツを)の実現を目指し、
スポーツ人口拡大への貢献に資する優れた取組を募集します!

応募期間

令和4年 10月11日(火)～12月9日(金)

詳しくは「Sport in Lifeアワード」
特設ページをご覧ください。

スポーツインライフアワード

検索

<https://sportinlife.go.jp/award/>



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY



第2回「Sport in Lifeアワード」

Sport in Life(生活の中にスポーツを)の実現を目指し、
スポーツ人口の拡大に資する優れた取組を募集します!

第2回「Sport in Lifeアワード」とは

スポーツ庁では、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現のため、「Sport in Lifeプロジェクト」として、
スポーツ人口拡大への貢献に資する優れた取組を募集し、表彰する「Sport in Lifeアワード」に取り組んでいます。

本アワードで受賞された取組を起点に、広く社会へ発信することで、
より多くの国民のスポーツ参加の機会を創出し、Sport in Life(生活の中にスポーツを)の実現を目指します。
本アワードの趣旨にご賛同いただける皆様のご応募をお待ちしております。

実施概要

主催	スポーツ庁(Sport in Life プロジェクト)
実施期間	◆応募受付 令和4年10月11日(火)～12月9日(金) ◆表彰式 令和5年3月上旬(予定) 会場:東京ポートシティ竹芝ポートホールまたはオンライン(予定)
応募対象	地方公共団体・関連団体、スポーツ関連団体(スポーツに関する活動を主に実施している団体/競技団体など)、 経済団体、学校・教育団体、医療福祉団体、民間企業など、アワード趣旨に賛同いただいている方は誰でも応募可能です。 ※令和3年4月1日以降で実施された活動を含む取り組みを基本的な対象とします。
応募要件	上記応募対象に加え、Sport in Lifeコンソーシアムへ加盟いただくことが必須です。 加盟申請がお済みでない方は申請をお願い致します。
募集部門	<input type="checkbox"/> 企業部門 <input type="checkbox"/> 団体部門 <input type="checkbox"/> 自治体部門
応募先	Sport in Life 運営事務局
応募方法	Sport in Life公式ホームページ参照
スケジュール	◆応募期間 令和4年10月11日(火)～12月9日(金) → 一次審査(書類審査) <12月中旬> → 最終審査会 <1月中旬> → 受賞候補者通知 <1月下旬> → 表彰式 <3月上旬予定>

表彰



Sport in Life 2022	大賞(最優秀賞) ……………	1件
Sport in Life 2022	優秀賞/企業部門 ……………	3件程度
Sport in Life 2022	優秀賞/団体部門 ……………	3件程度
Sport in Life 2022	優秀賞/自治体部門 ……………	3件程度
Sport in Life 2022	Sport in Life 2022賞	

受賞後の特典

特典
1

受賞取組内容を「Sport in Life」ウェブサイト※
に掲載!



※<https://sportinlife.go.jp/award/result/images/result.pdf>

特典
2

受賞ロゴマークを
使用可能!



Sport
in Life
Award

特典
3

各種メディアの他、Sport in Life 関係の
WEB媒体・イベント等でも皆さまを紹介!



募集要項

募集部門

企業部門	団体部門	自治体部門
------	------	-------

5つの評価視点

評価視点	具体的なポイント
Sport in Lifeの理念	(1) Sport in Lifeの理念を理解しているか？
スポーツ実施者の増加	(2) スポーツを行うきっかけづくりにつながっているか？
スポーツ習慣化の推進	(3) スポーツを行う習慣化につながっているか？
スポーツへの親しみやすさ	(4) スポーツへの親しみやすさにつながっているか？
スポーツの裾野の広がりやすさ	(5) 企業・団体・自治体のモデルとして他の地域や属性などへの広がりが期待できるか？

募集する取組アクション(例)

1	子供・若者向けアクション	空き地や生活道路など、子供・若者が身近な場所で自由に運動遊びをする環境を整備した。親子で一緒にスポーツを楽しむ取組が広がった。地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等を図った。
2	働く世代・子育て世代向けアクション	仕事や通勤をしながら、ちょっとした工夫のできる運動を推進した。子供をきっかけに、親世代のスポーツ実施が促進された。
3	女性向けアクション	日常生活、動作の中で、いつの間にか運動をしている仕掛けをつくった。スポーツの楽しさ、カッコよさを入口にスポーツ実施につなげた。
4	高齢者向けアクション	無理のない範囲で自分にあったスポーツを実施した。地域でのスポーツ活動を通じて、世代を問わないスポーツ交流へつながった。
5	障害者向けアクション	誰もが一緒に楽しめる、自分に合わせて楽しめるスポーツを実施した。スポーツを通じて「地域デビュー」することが促進された。

取組イメージ ※あくまで参考例ですので評価視点に沿った自由な取組でご応募ください。

取組例① 	<ul style="list-style-type: none">▶ 従業員が心身共に健康であることが事業成長にも寄与すると捉え、企業内スポーツ実施プログラムを推進。▶ 推進前に、従業員自身のスポーツ経験や健康意識や健康状態に関する調査を行い現状を把握。▶ その上で週1回、週3回スポーツを行う従業員の増加目標を掲げた。実施策として、気軽に取り組むことができるスポーツ事例や情報を提供。▶ 結果、週1回以上スポーツを行う人が30%増加、週3回スポーツを行う人が10%増加した。
取組例② 	<ul style="list-style-type: none">▶ コロナ禍で、親世代と子どもの運動不足・交流不足を課題と捉えた。▶ そこで親子がスポーツを通して、楽しく遊びの延長で身体を動かし、友達とも交流する機会につながるプログラムを考案し実施した。▶ 具体的には、自宅でできるダンスや、親子・友達とできるペアストレッチ・運動遊びなどを紹介。▶ 結果、コロナ禍以前よりもスポーツを行う時間が増加した。▶ SNS等で親子が運動する投稿の様子を見た親の友人も刺激を受け、スポーツの輪が広がった。
取組例③ 	<ul style="list-style-type: none">▶ 高齢者のスポーツを通じた健康づくりを目標に運動プログラムを展開。▶ 自治体と大学が連携し「スポーツきっかけづくりプログラム」を考案。地域の高齢者が、無理なく、負担なく、自分のペースでスポーツができる環境を創出。▶ 単発で終わらないよう、地域住民がお互い支えあうことで、自発的に集まって運動習慣につながる環境を作り出した。▶ 結果、高齢者の継続的なスポーツ実施者が前年と比べ3倍へと増加した。

応募方法

応募期間: 令和4年 10月11日(火)~12月9日(金)

Sport in Life ホームページより応募申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、お申込みください。

- ※必ず応募締め切り令和4年12月9日(金)までにお送りください。
- ※応募申込書の返却はいたしません。また事務局にて応募申込書の差替え等はいりません。
- ※映像・音楽資料は審査の対象外となりますのでご注意ください。



<https://sportinlife.go.jp/award/>

Sport in Lifeプロジェクトに関するお問い合わせ先 Sport in Life 運営事務局 メール: info@sil100.com

詳しくはSport in Life公式サイトをご覧ください。 <https://sportinlife.go.jp/>